令和 3 年 2 月 8 日

令和 3 年度当初予算説明資料

番号	32
事業名	行財政改革推進事業費（会議録作成支援システム）
予算額	3,085 千円（うち関係予算　2,024 千円） 関係予算内訳：システム構築委託料 594 千円　システム使用料 1,430 千円
特定財源	ー
事業の概要	業務効率化と新型コロナウイルス感染症対策として、令和 3 年度から会議録作成支援システムを活用していく。
事業の背景など	AI 技術を活用した会議録作成支援システムは、音声データを自動認識し文字変換するといった、会議録作成業務を効率化できるシステム。 市役所内で作成される会議録は年間で約 700 件。作業時間は約 2,600 時間を超え業務負担は大きい。 職員しかできない業務（面接・相談など）は職員が行い、これら新技術で代用できる業務には人の関与を少なくしていく。業務効率化及び将来にわたる人的資源の有効活用を図るもの。
目的・効果など	システムの効果は会議録作成時間の短縮（1/2 から 1/3 程度になる見込み）。昨今のコロナ対策としても有効で、会議室では音声を録音するだけでよく、会議室に記録者が入室する必要がない。事務所に戻ってからの会議録作成作業も時間短縮できることから、人の接触機会を軽減する効果がある。
事業スケジュール	R3.4 月～R3.5 月頃　事業者募集・選定期間 R3.6 月頃　事業者決定・契約・構築期間 R3.6 月～R3.7 月頃　運用開始
添付資料	なし
備考	
担当課	企画振興部　市政改革課　電話 53-4350